

第 I 章 本年度の調査概要

本年度は表 2 のとおり、発掘調査 3 件、立会調査 25 件、試掘調査 3 件を実施した。

本年度実施した発掘調査は、黒髪南地区で実施された総合研究棟共同溝に伴う発掘調査（0302調査地点）と本荘北地区で実施された基幹・環境整備に伴う発掘調査（0304調査地点）、発生医学研究センター建設に先立ち実施された本荘中地区の B・E・RI・旧動物舎取壊に伴う発掘調査（0314）である。

本荘北地区基幹・環境整備に伴う 0304 調査地点は、本荘北地区で行なった西側と東側の調査地点の中間にあたる。西側で実施された 9901・0006・0104・0119 の各調査地点の結果から、周辺には古墳時代前期から古代にかけての集落が広がり、遺構の分布が非常に密であることや、遺物包含層・遺構面は東側ほど浅くなることが判明していた。中央東寄りの 0101 地点でもいくつかの住居址の検出を見たが、遺構面が浅く、また遺構の分布の様子も若干異なっていた。このため、今回調査を実施した 0304 調査地点は、東へ向かって遺構分布の様子がどのように変化するのかを把握する上で重要な地点と考えられた。

調査の結果、0304 調査地点は予想どおり遺構面が浅く

削平を受け、また調査区に隣接している焼却炉用の煙突を建てた際に周囲が大きく掘削されており、調査区の大半は破壊され、給・排水等の敷設も多く、遺構のダメージは大きかった。しかし、遺構面が深い西側では、削平を免れた古墳時代や弥生時代の溝を検出することができた。今回検出した弥生時代の溝は、隣接する 0104 調査地点で確認された弥生時代の溝（125号溝）の続きである。この溝は古墳時代の溝との交差部分で確認したが、埋土が地山の土に類似しており、平面での検出には他の時代の遺構以上の注意が必要であった。また、調査区東側では大型の柱穴が検出されたが、0119 調査地点で検出された古墳時代の大型建物の柱穴列に類似しており、同じ時期のものと考えられる。本調査区は大学病院構内において最も北より（白川より）の地点にあたるが、遺構はさらに北へ広がること、古墳時代や古代の遺構は密度を減じながらも東へ広がることが確認できた。また、今後は弥生時代の遺構の検出に格段の注意を払う必要があることを認識した。

黒髪南地区における基幹・環境整備（共同溝設置）に伴う調査（0302）は、黒髪南地区中央やや西よりに大型

表 1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧（アミ部分は本年度調査した地区を示す）

No.	地区名（学部名）	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区（法・文・教・大教センター） 黒髪北地区（教育学部附属養護学校）	熊本市黒髪 2 丁目 40-1 熊本市黒髪 5 丁目 17-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安	
2	黒髪南地区（工・理）	熊本市黒髪 2 丁目 39-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安	
3	京町地区（教育学部附属小・中学校）	熊本市京町本丁 5-12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市城東 5-9	熊本城址	城館址・熊本城 関連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市新南部居屋敷 240-1	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	理学部臨海実験所	天草郡松島町大字会津 6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995 年度の調査 によって貝塚でない ことが判明
7	本荘南地区（医）	熊本市本荘 2 丁目 2-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安・ 中世	
8	本荘北地区（医学部附属病院）	熊本市本荘 1 丁目 1-1	本庄遺跡 （熊大病院敷 地遺跡）	散布地・集落 址・ 墓地	縄文・弥生・ 古墳・奈良・ 平安・近代	
9	九品寺地区（医療技術短期大学部）	熊本市九品寺 4 丁目 24-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安・ 中世	周辺遺跡
10	薬学部（薬）	熊本市大江本町 5-1	大江遺跡群	官衙址	奈良・平安	周辺遺跡
11	大江地区	熊本市渡鹿 4 丁目 1-1	大江遺跡	集落址	奈良・平安	
12	宇留毛地区（職員宿舎）	熊本市黒髪 7 丁目	宇留毛神社 周辺遺跡群	散布地	弥生・奈良・ 平安	

図1 黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)



表2 2003年度調査一覧

調査期日	調査番号	地点名	調査の種類	調査面積	時代	遺構・遺物
03・4・10	0301	黒髪団地南地区工学部薬品庫 新設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
03・4・10	0302	黒髪団地南地区総合研究棟共 同溝設備工事	試掘調査	9.6㎡		土師器
03・5・20	0303	黒髪団地南地区事務局排水管 修理工事	立会調査	16.8㎡		遺構・遺物なし
03・6・2～ 03・7・2	0304	本荘団地北地区基幹・環境整 備工事	発掘調査	333.5㎡	縄文・古墳 弥生・古代	住居址・溝・縄文石器 弥生土器・土師器・近代磁器
03・7・18	0302	黒髪団地南地区総合研究棟共 同溝設備工事	立会調査	296㎡		遺構・遺物なし
03・8・19	0305	京町地区附属小・中学校フェ ンス設置工事	立会調査	44.3㎡		遺構・遺物なし
03・8・6～ 03・9・12	0302	黒髪団地南地区総合研究棟共 同溝設備工事（Ⅰ区）	発掘調査	168.2㎡		
03・9・4～ 03・9・8	0306	本荘団地南地区医療技術短期 大学部北側駐車場環境整備工 事	立会調査	539.2㎡		遺構・遺物なし
03・9・5	0307	薬学部地区大江総合研究棟給 排水管および電気工事	立会調査	7.54㎡		遺構・遺物なし
03・9・29	0308	宇留毛団地小積宿舍1棟揚水 管漏水修理工事	立会調査	3.64㎡		遺構・遺物なし
03・10・2	0309	本荘団地中地区動物慰霊碑新 設工事	立会調査	4.02㎡		遺構・遺物なし
03・10・1～ 03・10・10	0302	黒髪団地南地区総合研究棟共 同溝設備工事（Ⅱ区）	発掘調査	253.5㎡	近代・古代	溝・ピット・陶磁器 土師器・弥生土器
03・10・27		黒髪団地北地区教室新築工事	試掘調査	13.75㎡		遺構・遺物なし
03・11・6		薬学部地区記念館建設工事	試掘調査	7.4㎡	古代	土師器
03・11・17～ 03・11・28	0310	本荘団地南地区発生医学研究 センター整備事業配管工事	立会調査	557㎡		遺構・遺物なし
03・11・26	0302	黒髪南地区総合研究棟共同溝 設備工事（ガス管）	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし
03・12・9		本荘団地中地区発生医学研究 センター整備事業本体工事	試掘調査	26.58㎡		
03・12・10	0311	本荘団地北地区中央診療棟 （軸）設営工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし
04・1・13	0312	薬草園取設工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし
04・1・14	0307	薬学部地区大江総合研究棟給 排水管及び電気工事	立会調査	45.5㎡		遺構・遺物なし
04・1・15～ 04・1・19	0313	黒髪団地北地区教室新築工事	立会調査	398.8㎡		遺構・遺物なし
04・1・23～ 04・1・27	0314	本荘団地中地区医学部B棟・ E棟・RI・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,567㎡ (1,000㎡)	古代	溝・ピット・土師器
04・1・30	0315	本荘団地北地区東側駐車場整 備工事	立会調査	30.7㎡		遺構・遺物なし
04・2・9 04・2・16	0316	黒髪団地南地区理学部4号館 周辺プレハブ等設置工事	立会調査	83㎡		遺構・遺物なし

調査期日	調査番号	地点名	調査の種類	調査面積	時代	遺構・遺物
04・2・23	0317	本荘団地北地区楷樹の木移植	立会調査	16㎡		遺構・遺物なし
04・3・4	0318	黒髪団地北地区附属養護学校門横市道水道修理工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
04・3・5～ 04・3・9	0314	本荘団地中地区医学部B棟・E棟・RI・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,567㎡ (300㎡)	中世・古代	溝・ピット 陶磁器・土師器
04・3・9	0319	黒髪団地北地区井戸改修工事	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし
04・3・9	0320	黒髪団地北地区福祉施設空調設備取設工事	立会調査	13.19㎡		遺構・遺物なし
04・3・10	0321	黒髪団地南地区外灯設備工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし
04・3・10	0322	黒髪団地南地区総合研究棟外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし
04・3・10	0313	黒髪団地北地区教室新築工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし
04・3・10	0323	黒髪団地北地区教室新築工事(空調機取設)	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし
04・3・11	0324	本荘団地中地区外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし
04・3・11	0325	本荘団地南地区外灯設備工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし
04・3・15	0326	黒髪団地北地区外灯設備工事	立会調査	3.54㎡		縄文土器片
04・3・16	0327	薬学部地区外灯設備工事	立会調査	11.8㎡		遺構・遺物なし
04・3・17	0323	黒髪団地北地区教室新築工事(植栽)	立会調査	8.92㎡	古代	土師器・須恵器片
04・3・22	0328	京町地区教育学部附属小中学校街路灯設備工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし

のトレンチを設定した形となった。

北側のⅠ区では、学内において初めて、縄文時代の遺物が範囲や量においてまとまって出土した。これまで、地山と呼ぶ土に縄文時代の遺物が含まれることは把握していたが、今回二時期に分層できたことは大きな成果であった。一定の範囲に黒曜石の破片が散布しており、下位からは縄文時代早期の押型文を主とする各種の土器や石器が出土した。総数は760点を数える。この縄文時代早～中期の遺物包含層は、調査区の中央付近以北に分布しており、今後、調査地点によって、必要となる掘削深度が異なってくると思われる。

南側のⅡ区では、古代の柱穴群と縄文時代包含層を確認したが、近世の削平によって、調査区南側が破壊されており、さらに現代の削平によって北側も大きく破壊を被っていた。削平された部分の堆積土に中期を中心とする弥生土器や甕棺片などが混じることを考えると、この

地区には弥生の墓地も残存していた可能性がある。白川に沿う段丘崖とその境を巡る溝(堀)が検出されたことは大きな成果であったが、近世以降の削平によって、古代以前の遺構が破壊されている可能性が大きくなったことは、周辺で調査された古代官衙関連と思われる遺構の広がりや弥生時代墓地の範囲を追求できない可能性もでてきたことになり、該期の研究には支障がでることになる。

医学部構内で検出した0314調査地点の遺構群は、建物建設に伴って破壊されていたと考えられていた遺構が基礎掘削部分の破壊を免れて残存していたことを教えてくれ、今後の調査の計画にも再考を促すこととなった。また、この溝を中心とする遺構群は隣接する9511調査地点と連続することが明らかになり、今後はその東側で計画されている発掘調査によって、その広がりや性格がさらに明確になるものと思われる。